

令和8年度 佐伯中学校 研究推進計画

令和8年4月3日

廿日市市立佐伯中学校

I 研究主題及び研究内容・方法等について

研究主題	主体的に学び続ける生徒の育成 ～基礎学力の定着を通して～
主題設定の理由	佐伯中学校区では、小中9年間で育成を目指す具体的な子ども像を「佐伯を愛し、自らの夢や希望の実現に向けて取り組もうとする佐伯っ子」と設定して、実践を行ってきた。教科等の授業だけでなく、生徒をとりまく実社会においても、生徒自ら課題解決を図る取組を実践することによって、学校の教育活動全体を通したカリキュラム・マネジメントを図りたい。 そのためにはまず、①課題解決の際に必要な基礎的な知識や、ICT 機器等の活用に関するメディアリテラシー能力を基礎学力と定義し、これらの定着を図る教育活動を進めたい。そして、授業をはじめとした様々な場面において、②互いにかかわり合う協働的な活動や対話の場を設定し、生徒が自分の考えを持って交流、実践し、振り返りを行うことを促したい。また、③生徒が自分自身の夢や目標を明確にし、その実現に向けて課題を明らかにして学習や学校生活に取り組むことができるように促したい。 これらの取組を通して、主体的に学び続けることができる生徒の育成を図ることができると考え、主題を設定した。
めざす生徒像	㊟最善の努力をし、自己の目標を達成しようとする生徒 ㊦いきいきと活動し、向上しようとする生徒 ㊧郷土を愛し、母校を誇りに思う生徒
育成すべき資質・能力	【基礎学力】【自己肯定感・自己有用感】【自己実現】
検証	【視点】 ① 定期テストにおける知識・技能の問題での正答率が60%以上の生徒が、全体の70%以上となるよう基礎学力を高めているか。 ② 生徒は、授業や学校生活を通した振り返りの中で、自己の成長や課題を捉え、自己有用感を感じることができたか。 【検証方法】 ア 教師の見取り イ 生徒の振り返り ウ 試験結果の分析 エ 生徒アンケートの分析
研究内容	(1) 授業を充実させる取組 ①「本質的な問い」による授業の充実 本質的な問いを意識した授業実践と、授業や学校生活全体を通した振り返りを充実させる。 ②かかわり合いの深化 授業や掃除等、教科や取組に合わせて、ペアやグループ、班などの協働的・対話的な活動を重視する。また、生徒同士の振り返りの交流にも着目する。 ③個別の支援計画の活用とUDの視点を生かした授業の充実 【重点目標】1時間の活動の流れが生徒に見えるよう工夫する。 ④総合的な学習の時間の見直し

研究内容

(2) 学校生活を通した取組

①毎トレノートによる家庭学習の定着

②帰りの SHR での「チャレンジタイム」の充実

【チャレンジタイムの日程】

曜日	活動内容
月曜日	ドリルパーク(理科)
火曜日	ドリルパーク(英語)
水曜日	視写
木曜日	ドリルパーク(数学)
金曜日	ドリルパーク(社会)

③マイスターバッチ等の認め合う活動

④地域貢献、ボランティア

総合的な学習の時間等での連携や部活動等でのボランティアの実施

⑤異学年交流

生徒会活動、体育祭・文化祭での交流

(3) 佐伯中学校区小・中学校連携協議会、および佐伯高等学校との連携

①津田小学校、友和小学校との授業観察シートの視点の連携

研究指標

○数値目標等

教科等	指標	達成目標	検証時期	検証方法
5教科	定期考査観点【知識・技能】 の正答生徒数の割合 (佐伯中全学年)	60%以上	R7.7 R8.1	定期考査

質問事項	達成目標	検証時期	検証方法
自分のやったことで人から喜んで もらったことがありますか。	75%	R7.7 R8.1	質問調査
授業では、課題の解決に向けて、自 分で考え、自分から取り組んでいた と思いますか	75%	R7.7 R8.1	質問調査

4 研修計画（※日程は研究構想図に記載）

(1) 研究授業

- ・年3回の研究授業を実施する。各学年部より1名の授業者を決定する。

(2) 課題発見・解決学習の単元計画の実施

- ・課題発見・解決学習の単元を各教科各学年で実施し、主体的な学びの深まりを図る。

(3) 小中連携

- ・授業観察シートを活用し、共通の重点項目での授業づくりと研究推進を図る。
- ・夏季合同研修会を行い、重点課題について教員の共通理解を図る。
- ・友和小学校及び津田小学校、佐伯高等学校の校内研究授業のいずれかに参加し、授業改善について意見の交流を行い、小中（高）教員の共通理解を深める。

令和8年度伯中学校研究構想図

学校教育目標

夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成

めざす生徒像

- ・最善の努力をし、自己の目標を達成しようとする生徒
- ・いきいきと活動し、向上しようとする生徒
- ・郷土を愛し母校を誇りに思う生徒

研究主題

主体的に学び続ける生徒の育成
～基礎学力の定着を通して～

研究内容

生徒に付けたい資質・能力：【基礎学力】【自己肯定感・自己有用感】【自己実現】

授業を充実させる取組

- ①本質的な問いによる授業の充実
- ②かかわり合いの深化
(個別最適な学びと協働的な学び)
- ③UDの視点を生かした授業づくり
活動の流れの『見える化』

学校生活を通した取組

- ①毎トレノートによる家庭学習の定着
- ②帰りのSHRでの「チャレンジタイム」の充実
- ③マイスターバッチ等の認め合う活動の拡充
- ④地域貢献, ボランティア
- ⑤異学年交流